

# 「海汚れ、観光に影響」

メガソーラー

## 反対有志 市へ署名1万2124人分

伊東市の八幡野地区で計画されている大規模太陽光発電施設建設に対し、同市のダイバーや漁業者らでつくる

「伊豆高原メガソーラーパーク発電所計画から海を守る会」（泉光幸代表）は2日、同市に1万2124人分の

反対署名を提出した。泉代表らが市役所を訪れ、小野達也市長に手渡した。

建設に反対する理由

として同会は▽八幡野川を通して流れ込んだ土砂が海の生態系に大きな影響を及ぼす▽海が汚れると、観光や漁業にも悪影響が出る▽豊かな自然環境が破壊される―などを挙げた。

泉代表は「海と森を守っていかねばならない。この1週間で、地元の人たちから千件近い署名が寄せられるなど、関心が高まっている」と話した。小野市長は「署名の多さから、たくさんの方が伊



小野市長(手前)に反対署名を手渡す泉代表＝市役所

東の自然に魅力を感じてくれていることが分かる。事業者にしっかりと説明して、理解を求めていきたい」との考えを示した。

同会は、同様の反対署名を県に対しても提出している。